

第2回 東京～山梨・長野 交通強靱化プロジェクト 議事概要

1. 日時

令和2年2月18日（火） 13:30～15:00

2. 出席者

国土交通省関東地方整備局 道路部長	山本 悟司
国土交通省関東運輸局 交通政策部長	久保 麻紀子（代理）
国土交通省関東運輸局 鉄道部長	黒川 和浩
中日本高速道路（株）八王子支社保全・サービス事業部長	和久田 明
東日本旅客鉄道（株）八王子支社企画部長	筑井 裕之（代理）
東京都 都市整備局都市基盤部長	山下 幸俊
神奈川県 県土整備局技監兼道路部長	大島 伸生（代理）
長野県 企画振興部長	伊藤 一紀（代理）
長野県 建設部長	長谷川 朋弘（代理）
相模原市 都市建設局長	田雑 隆昌（代理）
山梨県 リニア交通局長	三井 孝夫（代理）
山梨県 県土整備部長	丹澤 彦一

3. 議事

- （1）交通強靱化に向けた課題を踏まえた論点
- （2）取り組みの方向性（案）

4. 議事概要

- 今後の取り組みの方向性について、意見交換し下記のとおり共有した。
- ・現道の脆弱箇所に対し、個別の対策による強靱化及び沿道リスクアセスメントの導入による耐災害性の向上が必要である。
- ・3路線が近接並走する区間では管理者相互による連携した対策を検討するべき
- ・個別の対策と併せて、リダンダンシー確保を検討するべき。
- ・広域的迂回路の早期整備が必要である。
- ・関係者間での被災状況、交通情報を早期に共有する工夫が必要である。
- ・復旧工事協議に関する協力体制の構築（管理者⇄沿線自治体）が必要である。
- ・管理者間（道路⇄鉄道）の連携強化に資する整備や工夫が必要である。
- ・災害時の交通マネジメントを速やかに実施するための体制整備が必要である。
- ・情報の収集、共有、提供の方法や、代替交通手段の早期確保に向けた役割の明確化を検討するべき。

以 上